

平成26年8月27日公告

「大阪市中央体育館赤外線火災覚知設備改修工事」

設計図面 修正箇所

図面番号	図面名称
5	仕様書-2

5.仕様

5-1 システム仕様

以下に、本システムの仕様を示す

項目	仕様	備考
1. 監視センサ	赤外線カメラ 4台  可視カメラ 4台	機器仕様 ・検知器 非冷却 赤外線センサ ・表示画素 640(H)×480(V)  機器仕様(可視カメラ)を示す。 ・撮像素子 1/2~1/3型 CMOSイメージセンサー 約200万画素 (1920×1080)
2. 監視アトリウム	メインアリーナ全体	
3. 監視視野	(1) 赤外線カメラ1~4 水平:64°以上 垂直:48°以上	瞬時視野 1.9mrad以下
4. 監視距離	180m以内	
5. 火災検出方式	最高温度検出面積検出火災位置検出	1カメラ当たりの 火災処理数最大16 区画
6. 火災検出感度 (スレッシュレベル)	メーカー検知試験で決定 (監督員の承認を得ること)	
7. 最小検出寸法	カメラから180m離れたところで1m×1m <sup>2</sup>	
8. 火災検出時間	警報発報 約10秒以下	
9. 監視運用 サービス	(1) 火災監視 (2) 監視条件設定 (3) 火災データ管理 (4) システムメンテナンス	
10. データ記憶	火災データ:以下の火災情報を記録。 ① 年、月、日、時刻 ② 作動赤外線カメラ番号 ③ 警報区域番号 ④ 検出サイズ ⑤ 火災の見かけ上の最高温度  映像データ: HDDに記録(2TB以上)	100件以上
11. 警報出力	(1) 火点位置を判断し、防火区画接点出力および警報接点出力を防災複合盤・SP制御盤へ送出 ① 防火区画接点出力36点 ② 警報接点出力3点(防犯監視盤へ火災1, 2 設備異常出力) (2) 火災検出時、管理用PC画面にて警報表示を行い、ブザーの鳴動を行う。 (3) 管理用PCからリセット操作により、警報のクリアを行う。	
12. データ出力	(1) 火災点のサーマルイメージをディスプレイへ表示(火災発生時) (2) 管理用PCの操作による火災データ再表示(プリンタ接続の場合はプリントアウト) (3) 外部媒体へのデータ保存が可能。	

項目	仕様	備考
13. 映像モニタ	(1) 14型モニタ 1台 (赤外映像用) (2) 19型モニタ 1台 (可視映像用)	
14. 管理用モニタ	(1) 15型タッチパネル1台 ・管理用PCの画面表示 ・蓄積映像の再生表示	
15. 電源	AC100V 60Hz ・無停電電源装置を設置し、5分以上バックアップ可能とする。	
16. 環境条件	(1) 温度 室内(防災センター) 10~32℃ 室外(カメラ設置箇所) 5~35℃ (2) 湿度 相対湿度 20~80%	

5-2 機器仕様

N0.	機器名称	仕様
1	カメラ装置	【メインアリーナ設置機器】 赤外線カメラ:測定温度範囲0~300℃、波長帯8~14μm 画素数 640×480以上 測定精度 ±2℃又は読取値の±2%の大きい方 検出器 2次元非冷却センサ 視野角 水平64° 垂直48°(広角レンズ時) フレームタイム 30フレーム/秒 可視カメラ:1/2~1/3型CMOSイメージセンサー 有効画素数 1920(H)×1080(V) 水平画角 88.5度(ワイド端)、32.3度(テレ端) 固定焦点レンズ、オートアイリス
2	IPエンコーダ	入力 NTSCコンポジット映像信号、1Vpp/75Ω ネットワーク 100BASE-TX以上
3	L2-SW	CODEC H.264 ポート 1Gbps 8ポート以上
1	マルチ画面ユニット	【防災センター設置機器】 入力 LAN 1Gbps 1入力以上 (メインアリーナに設置するIPエンコーダの映像ストリームを4台以上同時に受信可能なこと) 出力 アナログRGB Dsub15ピン1出力以上 切替 単画面、4分割画面を切替可能なこと (将来的なカメラの増設に備え16分割画面表示を有すること)
2	赤外線用モニター	解像度 1280(H)×960(V)ドット以上 14型以上
3	可視用モニター	解像度 1280(H)×960(V)ドット以上 19型以上
4	制御装置	CPU Xeon E3-1230v3以上 メモリ 4GB以上 HDD 500GB以上(Raid1以上) ディスプレイ 17型LCDコンソールユニット
5	映像蓄積装置	CPU Xeon E3-1230v3以上 メモリ 8GB以上 HDD 2TB以上(Raid1以上) (赤外線、可視カメラの映像を3日間以上保持できること) ディスプレイ 制御装置と共用とする。 機能 可視、赤外線カメラ映像を常時録画し、3日間以上保持できること。 削除対象としない映像としてカメラ、日時を指定された場合3日以上削除対象に含めないこと。 蓄積映像は管理PCにて表示可能とし、通常再生、一時停止、2,4,8,16倍速の早送り、巻き戻しができること。 蓄積された映像は管理PCにてダウンロードし、閲覧可能であること。

N0.	機器名称	仕様
6	管理用PC	CPU Core i7 3.4GHz以上 メモリ 4GB以上 HDD 500GB以上(Raid1以上) ディスプレイ 1024×768以上 15型以上 機能 以下機器を制御するためのユーザインタフェースを持つこと ・マルチ画面ユニット ・制御装置 ・映像蓄積装置
7	プリンタ	最大対応用紙サイズ A3対応 印刷速度 カラー40頁/分、以上 モノクロ40頁/分(A4横)以上 印刷方式 LED ネットワーク 100BASE-TX以上
8	L2-SW	ポート 1Gbps 24ポート以上
9	タイムサーバ	プロトコル UDP/IP、TCP/IP、SNMP LANインタフェース 10BASE-T/100BASE-TX 1ポート プロトコル SNMPv3、SNMPv4、NTPv3、NTPv4、TIME、DAYTIME
10	UPS1	内蔵水晶精度 日差最大±100ms(+25℃) 皮相電力(VA) 1500 電源供給方式 常時商用(ラインインタラクティブ)
11	UPS2	入力電圧 AC100単相 接続機器 制御装置、映像蓄積装置 入力電圧 三相3線 AC200V 出力電圧 単相3線 AC200/100V 定格出力 10kVA 保持時間 30分以上 切替時間 無瞬断
12	IPデコーダ (既設モニターシステム 映像提供用機器)	出力 NTSCコンポジット映像信号、1Vpp/75Ω ネットワーク 100BASE-TX以上 CODEC H.264 伝送遅延 最大250ms(H.264時) (IP伝送遅延含まず)
13	映像分配器	入力 NTSCコンポジット映像信号、1入力 出力 NTSCコンポジット映像信号、3出力以上
14	メディア コンバーター	伝送距離 2km以上 通信速度 100Mbps ポート 100BASE-TX(RJ-45)

工事名称	大阪市中央体育館赤外線火災感知設備改修工事	平成26年度
図面名称	仕様書-2	図面サイズ:A2
縮尺	-	図面番号 No. 5 (12枚の内)
設計 監理 実施	大阪市都市整備局 公共建築部施設整備課	日本ビル・メンテナンス 株式会社 一級建築士事務所